

	放送大学茨城同窓会会報	発行所
	ときわ	放送大学茨城同窓会(茨城学習センター内) 〒310-0056 水戸市文京 2-1-1(茨城大学内) 発行人 会長 鈴木 和徳
2005.8.31現在の同窓生数:189名(内、本会会員数:70名) http://www.it-doctor.jp/dousokai/		

同窓会の皆様へ

茨城学習センター所長
塩見 正衛

放送大学(茨城学習センター)同窓会の皆さん今日は。私は、今年4月にセンター所長に就任し、慣れない仕事をする事になりましたが、どうかよろしくご援助いただくようお願い致します。

放送大学の同窓会は、参加しておられる方はまだ少ないようですが、拝見するところ強力な会長のご指導の下で、着々のご活躍のご様子で、職員一同心強く思っております。同窓会会員相互の親交を図られるとともに、新しい学生を勧誘いただくなど放送大学の発展に一層のご援助をいただくと嬉しく存じます。新築なった校舎に移ってから数ヶ月たちましたが、私たち職員は、学生諸氏の勉強が一層うまく進むように、以前にもまして心を引きしめて勤めさせていただいております。

さて、以下では私の自己紹介をさせていただきます。私は、専門教育では生態学を学生に教えてきましたが、かつて農林水産省の研究所に在籍していたときは、統計的技術を研究者の皆さんに教育する仕事を受け持っていましたので、(数字による)統計学の教育も得意にしております。面接授業では「生態学」の理論と実際を話すつもりですが、2週間に1度開いているセミナーでは、「やさしい統計学」の講義をしています。

研究の面では、生態学、特に草原の生態学を専門にしています。わが国には草原は現在あまり見られないのですが、地球規模で見ると、陸地面積の約30%を占めていて、約5億人の人々がそこで牧畜を中心として生計を立てています。また、牧畜産業だけではなく、現在は地球環境問題からも、草原が砂漠化する現象や、草原が二酸化炭素を吸収しているのか、放出しているのか

というような観点から注目をあびています。

草原には一面に牧草が生えていますが、あるところは牛に短くなるまで食われ、ある部分は食われずに背が高く成長しています。草原の中は、背の高さだけでなく、植物の種類もモザイク状に模様を作っています。私は若いとき、このようなモザイク状の植生や、また草原で草を食べている牛の群れを美しい風景だと思っていました。

草原の風景を見ると、皆さんもきっと感動すると思いますが、画家が見るとキャンバスに描くし、音楽家ならピアノで牧歌的な曲を作るでしょう。私は、残念ながら絵も下手ですし、作曲と来たら全くできません。しかし、そのような情景を表現する手段を私ももっていました。それは、数学で表すことです。草原の情景は数学で絵に描くことも、曲にすることもできるのです。研究には、人類の要請ですぐに解決しなければならない技術の研究がありますが、このように自然現象を理解し、明らかにする研究もあります。皆さんも、このような世界に入ってみませんか。

会員の皆様へ

茨城同窓会 会長
鈴木 和徳

会員の皆様には、本会運営につき日頃よりご理解・ご協力を賜わり、ありがとうございます。

さて、本会は、会員や役員、放送大学関係の皆様のお陰によりましてどうにか軌道に乗りました。しかし、今や本学を取り巻く環境は、インターネットを含めたIT化が益々進む状況にあり、本学設立構想時の放送メディア利用の画期的な大学としての、既存大学からの脅威感はもう感じられない程に、相対的魅力が薄れてしまった感が致します。

本学は、他の大学からの客人により運営されているように私には感じられる程の状態

にあり、入学者数減少の中で、本学の抜本的な魅力向上策よりも毎回の入学者募集にエネルギーを消耗されている感が拭えません。本学には、より高度の教育を受ける機会を国民に均等に提供する当初の使命と、より優れた生涯学習環境の開拓・提供への国民の期待があり、絶えずそれを自覚して行くことが求められます。他の大学には研究と研究者育成のゼミ等により以上にシフトして頂き、本学は、積極的に既存大学の学生に向けても高度教育部門を担える気概を今こそ持つべきものと思います。

縁あって本学に身を置かれた同窓生には、本学への帰属意識の高い方も少なくなく、国民・市民として国の高度教育享受の機会均等提供の保証と生涯学習環境の改善・提供に目を配ると共に、本学の発展にも大いに期待感を持って頂けるものと思います。

本会は、それらにも目を配り、母校の発展に微力ながらも心を尽くしつつ、お互いの向上と親交を図って行くべきものと思います。

今、本会はそれらに向けて態勢を整え、将来に向けて会員の皆様のご理解・ご協力が益々得られますよう、脱皮の期待と試行の苦しみに当面致しております。会員の皆様には、今後とも本会の運営・発展と母校の発展のため、益々のご理解とご協力を賜われますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

夜明けまで卒業論文を

「産業と技術」卒業
井上 哲孝

私が放送大学を卒業してから、早くも5年が経っていることに気付き、驚くと共に、懐かしく思います。

平成12年3月に全科履修生の「産業と技術」専攻を卒業し、在学中、大変に感じたレポートや試験が無くなると、「もうちょっと勉強したいなぁ」という気持ちになった為、卒業した年の夏に、筑波大学大学院理工学研究科の入学試験を受験し、翌年春に進学しました。

その後、入学から2年で修士課程を修了したところで、「学業は、とりあえず一区切り」と思うと同時に、学んだことを積極的に活用出来るような職に就きたいと思うや否や、そ

の夏に転職の為、長年の目標であった企業の中途採用試験を受験し、その秋、念願の職へと転職致しました。

放送大学在学中には、結婚、長女誕生等、人生の大きな節目を迎えながらも、通常の仕事と平行して勉学に勤しみ(というほどではなかったですが・・・)、思い起こせば、我ながら、良く頑張ったなと思います。その後、最近までの5年のうちに、引越し3回、次女誕生、新居建築、大学院卒業、転職と、かなり濃縮された人生を進めて来ました。

やはり、自分で言うのも何ですが、放送大学で学んだ時期には、「空いた時間にレポートを書く」、「暇な時間にテキストを読み返す」という、本来、義務教育の時期に体に染みつけておくべき事柄を、三十路近くになって、ようやく出来るようになったのだと実感しました。これがきっかけとなり、講義を通して学んだことに加え、時間を有効に使うことを学べたことは、自分にとって、大変有用なことだったと思います。

放送大学の在学中も、出張が多く、卒業年度などは、特に多忙であった為、出張先から宿泊していたビジネスホテルに午前様で到着した後、ひと風呂浴びてから、夜明けまで卒業論文を書き、明け方から朝7時まで寝るという生活を10日程、続けていたことを思い出します。そして、そのまま、週末には、担当教授のゼミに行くという忙しい日々も、今となっては良い思い出だと思います。

現在は、海外出張で国外に居ることが多い為、「海外からでは、期末試験も受けられないよなぁ。あの時、勉強しておいて、良かったな」と思うことしきりです。

新しい学習棟が建築されたたのお話を聞き、お世話になった先生を始めとし、学習センターの皆さんに御挨拶に伺いたいと思います。ながらも、今だ「出張遊牧民」状態で、思いを果たせず、機会を伺っている状況です。同窓会にも、是非参加し、皆様の御近況もお伺いしたいところです。皆様にお会いできる日を心待ちにしております。今後とも宜しくお願い致します。

もう一度入学してみたい

宮内 孝子
何から書いてよいやら 私には少々過去

の話になりました。

高校卒業の後二年間 自由な時間を得るため、短大にでもという考えを見事につぶされ十数年 放送大学に巡り合うことが出来ました。

しかし、いざ始めてみると まさに大学の内容でした。記憶力との戦いの日々、何度となく、挫折しそうになりましたが その都度友人に、ここまで来たのだからあとひとがんばりと励まされ九年半の長きに渡り学生証を持ち続けました。

広く、浅くではありましたが 学ぶこと 知識を得ることが その後の人生に糧となったことに違いありません。

多くの人のお骨折りの結果 同窓会が発足し 在学生も合同の旅の車中での自己紹介で私一人が現在教科書を手にしていない現実におくれを感じました。しかし 過去の私の勉強中の刺激で今年の四月から放送大学に入学したという同村の後輩を身近に見 私もいつかもう一度再入学したいという意欲に導いてくれたことは、何ものにもかえがたい収穫があったように思います。

マイペースで勉学を

「発達と教育」卒業
大川 侑希子

放送大学に入学してから14年がたちました。入学当初、職場での仕事はいよいよ仕上げの時期にさしかかっていたいました。そんな中、年に数回の職場を通しての研修は、学習への興味を持たせるにとどまりました。それに比べて放送大学での授業は28年前に受けた学習内容を色あせたものにするに十分でした。昔身につけた理論ではもはや役にたたないものもあり、温めなおしながら使うにはかなり無理があることに気づかされました。とにかく、放送を通しての授業の内容は充実していて、仕事への意欲と自信に結びつき、新たにやりがいも生まれてきました。

職場を去った今、自分自身の身体的変化はもとより、さまざまな環境の変化によりよく適応していくためにも、継続する学習が何ほどか私を勇気付け、行くべき方向を指し示してくれています。壊れた壺に水を注ぎこむようなものと言われそうだし、相変わらずテストに引っ張られる惨めな学習形態は続いています。力まず、マイペースでこれからも

続けていけたらと思っています。

いま『大日本史』とは

放送大学大学院
「環境システム科学群」修了
山口 文夫

『大日本史』は徳川光圀により編纂された歴史書であることだけは知っていた。戦前は尊皇攘夷の精神的なバックボーンとして、もてはやされたいらしい。その反動もあってか現在は中学校の歴史の教科書(扶桑社)に光圀も『大日本史』も記載されていない。



明暦3年(1657年)水戸藩二代藩主徳川光圀が彰考館(史局)を置いて自ら監修を務めてから、明治39年(1906年)に十代藩主慶篤の孫圀順が完成させるまで実に250年の歳月を要し、全402巻という膨大な歴史書を作成した。彰考館総裁には佐々宗淳や安積澹泊等の著名な史家が選ばれた。水戸藩は財政の1/3を費やして『大日本史』を作った。その活動の源は何であったのか、興味を覚える。歴史は後から作られると揶揄的に言われることがある。歴史書は勝者の論理で書かれることが多いからである。光圀の『大日本史』編纂の意図はどこにあったのだろうか。「尊皇」の大義名分を説く『大日本史』は徳川幕府の親藩中の親藩の立場にありながら、倒幕派に理論的根拠を与えたのではないか。水戸藩内の佐幕派(諸生党)と尊皇派(天狗党)の内紛に影響を与えたのではないか。

『大日本史』は神武天皇から後小松天皇までの百代の帝王の治世を紀伝体で記した史書である。本紀(帝王)、列伝(后妃・皇子・皇女・群臣)、志・表から成る。質の高い漢文体で書かれている。大日本史の特質として下記3点が挙げられる。

(1) 神功皇后を歴代から除き皇后伝にいられた。『大日本史』では「皇后」は「皇后」であり「天皇(女帝)」ではないと明記した。『大日本史』は「名分(身分に応じて守るべき本分)」を明確にすることが特徴であ

る。

(2)大友皇子の即位を認めた。(朝廷は明治3年(1870年)に弘文天皇の諡号を与えた。)

(3)南北朝について南朝を正統とした(南朝正統論)。

流石に地元・水戸を歩いてみると『大日本史』の痕跡はあった。

『大日本史』は享保5年(1720)、文化7年(1810)、文政2年(1819)には版本が作られた。嘉永4年(1851)には校刻が完成して広く刊行されたい。版本とは版画のように版木に文字を刻み込んで印刷する方法で、徳川美術館には版木が2枚展示してあった。現存している版木はこの2枚だけで後は1945年の戦災で焼失したという。徳川博物館には彰考館扁額が展示されていた。

茨城県立図書館にも『大日本史』の版本が揃っていた。この図書館のよさは手にとって読むことができることである。漢文なのでよく理解することはできないが、おぼろげながら感じはつかめる。

茨城県立歴史館には『大日本史』のコーナーがあり彰考館で研究するスタッフの様子が絵で説明してあった。版本も揃っていた。しかし、手に取ることはできない。

茨城大学附属図書館にも『大日本史』の版本が揃っていた。重要書籍は閉架式書架に納められている。非常にありがたいことに閉架式書架に自由に入って書籍を探ることが認められていた。通常は人がいない場所なので空調は利かない。汗だくになりながら『大日本史』を探し当て、その場でページを繰る。「天皇大友」の文字が見える。喜びで非常に興奮した。(在位期間 671年12月5日～672年7月23日と僅か7ヶ月であった。壬申の乱で伯父・大海人皇子＝天武天皇に敗れ25歳の生涯を閉じる。)

光圀の『大日本史』編纂の動機は正保二年十八才の時に史記の伯夷伝を読み感銘した事といわれる。このことは第二代藩主・綱條が作成した「大日本史叙」に詳述されている。「大日本史叙」は『大日本史』巻一の最初に記載されている。格調高い漢文である。水戸市立第二中学校の校門の脇に「大日本史編纂之地」の碑があり、台座に「大日本史叙」が彫られていた。

『大日本史』は朱子学の大義名分論に根拠を置く物語と思っていた私の考えは、版

本に触れることにより大いに間違っていることに気が付いてきた。佐々宗淳や安積澹泊等が全国を駆け巡り史料・文献を調査し、実証主義に基づいた人文科学的な立場で編纂した歴史書であると思う。歴史学の面から古典を研究・究明し、日本の道義を確立しようとしたものである。正に、彰考(歴史を彰かにして未来を拓く)であり、現代の視点からも意義があると思う。

(写真は彰考館総裁・安積澹泊像(格さんのモデル))

全国同窓会連合15周年記念事業

茨城同窓会主催

「水戸の歴史と文化を訪ねてー徳川光圀を中心に」(史跡巡り等)と 黄門様宴膳体験・慰労会のご案内

1. 日時

平成17年11月13日8:10～17:45
(雨天決行)

2. 場所

水戸市内、常陸太田市方面

3. 定員

55名(一部人数割当て、外は先着順)

4. 参加費

- 1)茨城同窓会会費納入済み会員:3,500円
- 2)それ以外の同窓会会員(代表も含む)と茨城学習センター所属同窓生:4,000円
- 3)在学生、その他:4,500円

5. お申込先

311-414 茨城県水戸市双葉台2-4-2
丹 協子 TEL・FAX 029-252-7100

E-MAIL kyontan@m3.dion.ne.jp

315-0014 茨城県石岡市国府6-1-25
前島 寿子 TEL・FAX 0299-24-2053

E-MAIL s1176t@ybb.ne.jp

詳細は放送大学茨城同窓会のホームページの「行事案内」からご覧下さい。

<http://www.it-doctor.jp/dousokai/>

(実行委員)

編集後記

今回、経費節減のため、モノクロ印刷に切り替えました。また、新たに編集員が増えました。皆様からのご投稿をお待ちしていません。

(編集委員:猪膝、井下、葛貫)